

日経中国関連株 50、銘柄定期見直しで神戸鋼とソニーを採用

日本経済新聞社は、定期見直しにより日経中国関連株 50 を構成銘柄からNEC、東京エレクトロンを除外し、神戸製鋼所、ソニーを採用する。10月31日から実施する。

日経中国関連株 50 は、中国関連度の高い 50 銘柄で構成する時価総額型の指数。昨年 12 月から指数値を日々公表している。日経紙面での中国関連記事の掲載度合いや有価証券報告書の開示内容をもとに、毎年 10 月に定期見直しする。

入れ替え後の指数構成銘柄は下記の通り。

アサヒグループホールディングス、麒麟ホールディングス、味の素、セブン&アイ・ホールディングス、東レ、住友化学、信越化学工業、三井化学、三菱ケミカルホールディングス、花王、資生堂、JXホールディングス、ブリヂストン、旭硝子、新日本製鉄、住友金属工業、神戸製鋼所、JFEホールディングス、住友金属鉱山、住友電気工業、コマツ、日立建機、クボタ、ダイキン工業、日立製作所、東芝、三菱電機、パナソニック、シャープ、ソニー、TDK、デンソー、ファナック、京セラ、村田製作所、三菱重工業、日産自動車、トヨタ自動車、ホンダ、ニコン、キヤノン、伊藤忠商事、丸紅、三井物産、住友商事、三菱商事、ユニ・チャーム、イオン、商船三井、ファーストリテイリング